

辺野古土砂北九州

発行…2020年9月・No.10



会員のみなさんから届いた総会の返信葉書。沢山のコメントが書かれていることに、ある世話人は「感動した」と言っていました。みなさんありがとうございました。

《目次》

門司からの土砂搬出がストップ!!(八記久美子).....	2 ページ
意見書葉書の提出を.....	5 ページ
【日本の基地】木更津駐屯地(野中晃).....	6 ページ
【沖縄エトセトラ】コロナと日米地位協定(真栄里保).....	9 ページ
天久学習会ご案内.....	11 ページ
【エッセイ】地域の宝を掘り起こす(浦島悦子).....	12 ページ
第6回定期総会《紙面集約》報告.....	13 ページ
今後の予定.....	14 ページ

写真提供…野中晃・真栄里保（敬称略）

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



沖縄防衛局・辺野古新基地の「設計概要変更申請書」でわかった 門司からの土砂搬出がストップ!! 代わりに、沖縄・鹿児島から大量の土砂が搬出予定に

辺野古土砂北九州事務局長 八記久美子(土砂全協事務局次長)

■申請書の縦覧はじまる

今年4月21日、沖縄防衛局(以下:防衛局)は辺野古新基地建設工事の「設計概要変更申請書」を、沖縄県に提出しました。

大浦湾側の7割にも及ぶ地点に、マヨネーズ状の軟弱地盤が見つかり、防衛局は、世界にも例のない地盤改良工事をしなければならなくなりました。また海を埋め立てるための土砂調達予定地も、大きく変更されました。

このように、工事方法等を変更しなければならない場合、施工主である防衛局は、沖縄県に工事変更の承認を得なければなりません。その内容は、告示・縦覧されます。この工事に関わる利害関係人は、9月8日(火)~9月28日(月)の3週間、意見書を提出する事ができます。税金の無駄遣いという点から見ると、国民は利害関係人です。

また、4月21日に提出された申請書の告示・縦覧がこんなに遅くなったのは、沖縄県の補正指示への防衛局側の回答が遅れたり、コロナ感染症で、沖縄県の緊急事態宣言が出たためでした。

■香川・山口・福岡(門司)が消えた

昨年10月の新聞に、防衛局が「2014年度に新たな土砂搬出地を調査していた」という記事が載りました。

防衛局が、新たな採取場41カ所を調べていたのですが、その時の一覧表では「門司地区」のストック量が「計?」となっていたので、「?とはどういう事なのか」「門司はいったいどうなるのか」と、私は不安な気持ちになりました。

そして、今回の変更申請書で、香川県・山口県・福岡県の数字は消え(4ページ)、土

砂の搬出がないことが明らかになりました。

これは、私たちの運動の成果というよりも、単に距離の問題で、沖縄から遠いために、コストがかかる香川・山口・福岡からの土砂搬出がなくなったようです。

■肩の荷はさらに大きく

理由が何であれ、門司からの土砂搬出がなくなり、肩の荷が半分消えた気持ちです。しかし、鹿児島県は610万 m^3 が4365万 m^3 に、沖縄県は670万 m^3 が4476万 m^3 に増えました。(数字はストック量や調達可能量で、搬出量ではありません)

今回示された土砂搬出予定地は、大半が土砂搬出ストップの運動のない所です。運動の今後を考えると、肩の荷は今まで以上に大きく感じられました。

■3つの方針で頑張ります

私たち土砂搬出予定地は、2015年に土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)を結成し、共に学び、情報交換をしながら、防衛省交渉・環境省交渉・防衛局交渉・沖縄県議会への陳情などを続けてきました。その様子は、土砂全協の機関紙「つながる力」で、お伝えしているところです。

土砂全協には、新しい搬出地に新たな運動団体を作っていく課題が生まれました。

土砂全協の役員会としては「まず連絡のつく所からつながりを築く」「情報交換などから始め信頼関係を深め、各県で県外への外来生物搬出を止める条例制定などを展望する」「リストアップされた各採石場の基礎データ(事業所名、規模など)の収集をする」等を、9月13日の全国総会に提案するようにしています。(やつきくみこ)

辺野古新基地建設

《変更申請埋立土砂調達計画の概要》

防衛局は「調達可能量」を示しているだけで、
実際の土砂採取量は未定としています。

沖縄県内の埋立土砂調達計画の概要

(調達可能量：単位は m^3)

当初計画			変更計画		
地区	採取場所	調達可能量	地区	採取場所・搬出港	調達可能量
本部地区	本部町・名護市 <海上搬送> 本部塩川港・安和桟橋	620 万	北部地区	本部町・名護市 <海上搬送> 本部塩川港・安和桟橋 <陸上搬送>	948.2 万
国頭地区	国頭村 海上搬送	50 万		国頭村 <海上搬送> 奥港 <陸上搬送>	234 万
			宮城島地区	うるま市 <海上搬送> 中城湾港	30 万
			南部地区	糸満市・八重瀬町 <海上搬送> 中城湾港・那覇新港？	3,159.6 万
			南大東島	<海上搬送>	6 万
			宮古島	保良 <海上搬送>	50.5 万
			石垣島	<海上搬送>	48 万
沖縄県内合計		670 万			4,476.3 万



沖縄県外からの埋立土砂搬入計画の概要

(■は専用栈橋等 調達可能量：単位はm³)

県	地区	当初計画		変更計画	
		採取場所	調達可能量	採取場所・搬出港	調達可能量
鹿児島県	徳之島	徳之島町→平土野港	10万	徳之島町→平土野港	570万
				天城町→平土野港	
				徳之島町→亀徳港	
	奄美大島	龍郷町→名瀬港・■	530万	龍郷町(4ヶ所)→■	1,190万
		住用町(3ヶ所)→■(2ヶ所)		住用町(2ヶ所)→■(2ヶ所)	
		瀬戸内町→古仁屋港		瀬戸内町→古仁屋港	
				加計呂麻島→瀬相港	
	大隅地区	(佐多岬地区) 錦江町→■	70万	錦江町→志布志港	407.5万
				肝付町(6ヶ所)→志布志港	
				鹿屋市(2ヶ所)→志布志港	
				曾於市→志布志港	
				志布志市(2ヶ所)→志布志港	
	始良・伊佐地区		0	湧水町→始良港	80万
				始良市→始良港	
	南薩地区		0	南さつま市(2ヶ所)→枕崎港	167.8万
				枕崎市→枕崎港	
	鹿児島地区		0	鹿児島市(3ヶ所)→谷山港	1,900万
				南九州市→谷山港	
日置市→谷山港					
日置市→串木野港					
			串木野市→串木野港		
北薩地区		0	川内市→川内港	50万	
			出水市→出水米ノ津港		
熊本県	天草地区	御所浦町→■	300万	御所浦町→■	250万
	宇城地区		0	宇城市→三角付近の港	20万
長崎県	五島地区	五島市本窯町→■	150万	五島市本窯町→■	200万
				南松浦郡新上五島町→■	
福岡県	門司地区	北九州市(3ヶ所)→■	740万		
山口県	門司地区	防府市黒髪島→■			
		防府市向島→■			
佐賀県	伊万里地区		0	伊万里市→■	5万
香川県	瀬戸内地区	小豆島町→■	30万		
沖縄県外合計			1,830万		4,840.3万
沖縄県内外合計			2,500万		9,316.6万

変更計画で示された沖縄県と県外の調達可能量の合計は 9,316.6 万 m³ ですが、海の埋立に必要な土砂の総量は 1,690 万 m³ です。

調達可能量が、すべて搬出されるわけではありません。

新基地建設ストップにつながる 意見書葉書の提出にご協力を

私たちが意見書を出すように、「新基地建設賛成」の方たちも、意見書を出すでしょう。建設ストップで頑張る玉城デニー知事を支える意見書を、1枚でも多く沖縄県に届けましょう。みなさんのご協力をお願いします。

《3度目の正直です》

もともと、この意見書提出は7月に行われるだろうと言われていました。なので当会では、7月に「こんなふうに出してください」、8月には「この用紙を使って出してください」と、会報の中で意見書提出を呼びかけてきました。結局、告示・縦覧は9月になり、「葉書の方が出しやすい」ということで、今号の会報に葉書を同封しました。みなさんのご協力をお願いします。

①日付・住所・氏名・電話番号を、書いてください。

②「税金の使われ方に興味がある」「美しい海を壊さないでほしい」等、自分自身が「利害関係人」と考える理由を書いてください。

③あなたの新基地建設反対の理由を書いてください。例えば

- *地質の専門家からなる辺野古調査団は、震度1以上の地震で「大浦湾の護岸は施工中ならびに完成時に崩壊する可能性が高い」と指摘しています。
- *新基地には、沖縄県の試算で2兆5,500億円以上の莫大な予算がかかります。
- *軟弱地盤の地盤改良工事は、工事の船さえない状態です。私たちの税金を捨てるに等しい。
- *海面下90mまで軟弱地盤が続いているにもかかわらず、海面下70mまでしか地盤改良を行わないため、このままではケーソン護岸は崩壊します。
- *今回は大規模な変更ですから、環境影響評価をやり直すべきです。

●意見書の提出期間は、9月8日(火)~9月28日(月)までの3週間です。※当日消印有効。

●この葉書を2枚同封しています。お知り合いの方にも、是非呼びかけて下さい。

辺野古新基地建設事業・「設計概要変更承認申請書」に係る意見書	
沖縄県知事 玉城デニー様	2020年 月 日
(提出者)	
住所	
氏名	
電話	
【利害関係の内容】	
【意見】	沖縄県知事は、今回の「設計概要変更承認申請」を、不承知としてください。
【理由】	
提出期間9月8日(火)~9月28日(月)当日消印有効	

●「利害関係人とは、自らが利害関係人と思う人」で、沖縄県民に限らず、誰でも意見書を提出できます。

【シリーズ】日本の基地…第10回・木更津駐屯地(千葉県)

日米オスプレイの 定期機体整備一大拠点化させない

オスプレイ来るな いらぬ住民の会 事務局 野中晃

■はじめに

千葉県木更津市には、陸自(米軍基地)・海自・空自の3隊の基地がある。陸上自衛隊木更津駐屯地の名称は木更津飛行場(米軍基地名)である。

陸自オスプレイが7月10日、16日と相次いで岩国から木更津にやってきた。陸上自衛隊木更津駐屯地は、日米オスプレイの「定期機体整備」及び陸自購入のオスプレイ17機の「暫定配備」と基地強化の基盤整備が進められ、一大拠点化されようとしている。

■市長の質問に防衛相回答なし

昨年5月24日、原田防衛副大臣は、「陸上自衛隊木更津駐屯地にオスプレイ17機暫定配備」を木更津市長にお願いした。あれから6ヶ月。木更津市、同議会は「容認」をめぐってゆれる。

木更津市長は、暫定配備を容認する場合は①「暫定期間」を明示すること。②なぜ木

更津が「適地」なのか。③「訓練内容」の説明など3点にまとめ防衛省に投げ返したが、回答はありません。

この間、15号・19号台風と豪雨に千葉県はかつてない大災害に見舞われ、復興に集中しました。復興は半ばです。12月1日、オスプレイ暫定配備反対千葉県大集会 in 木更津を2000人で成功させ、集会名のアピールを木更津市長に届けました。

■10日間のドタバタ劇と市長の変心

木更津市議会は、「暫定配備容認」を12月定例議会で決着をめざした。住民・市民・漁業組合等の意見を無視して「容認の意見書」作成に突っ走った。

特に11月6日、7日に佐賀県と佐世保・相浦駐屯地を行政視察しながら、議会報告もせず(情報公開請求で判明)、12月18日の本会議で容認の発議を18:4で採決。同日、木更津市長は容認談話。19日市議会議長ら意見書を防衛省に提出。休日を挟んで木



抗議行動の様子

更津市長は、河野太郎防衛大臣に面会、大臣の努力目標を引き出したとして、正式に「暫定配備容認」を大臣に伝えた。

住民へのクリスマスの最大のプレゼントは、17機のオスプレイであった。TV、新聞などメディアは一斉に「暫定配備5年で容認」の大合唱。市民には内容を全く知らされないまま、5年がすり込まれたのである。「オスプレイ5年」が挨拶代わりになった。

私はこの事態を「10日間のクーデター」と呼んでいる。

■5年先は防衛省が考えると開き直る市

暫定配備容認の露払いをした、木更津市議会の「意見書」第2項には、「佐賀空港に駐屯地ができれば移駐」など「恒久配備」が見え隠れする。

12月26日、「オスプレイ来るな いらない住民の会」をはじめ、各団体は直ちに木更津市長へ抗議と撤回を求めた。「5年の約束は？」「最大の問題である《なぜ木更津が適地》か？」「訓練内容は」の宿題に回答がないのでは？」と、抗議と撤回を申し入れた。

木更津市は、「5年後は分からない。防衛省が考えること」と開き直った。

■突然の新聞発表「大整備拠点構想」

新型コロナウイルスの脅威と戦っている3月26日、陸上自衛隊木更津駐屯地に「輸

送航空隊」が430名で発足し、佐世保・相浦基地の水陸機動団(2,000名)と一体になって、島嶼防衛・奪還の訓練をはじめ。

さらにコロナのどさくさに紛れて米軍は、日米オスプレイの定期機体整備を「今後最大9年半」「7機同時整備可能な2棟の格納庫新設」「将来CMVの整備や海外での整備」を盛り込んだ一大整備拠点構想を打ち出し、木更津市や議会に報告することなく新聞発表をした。

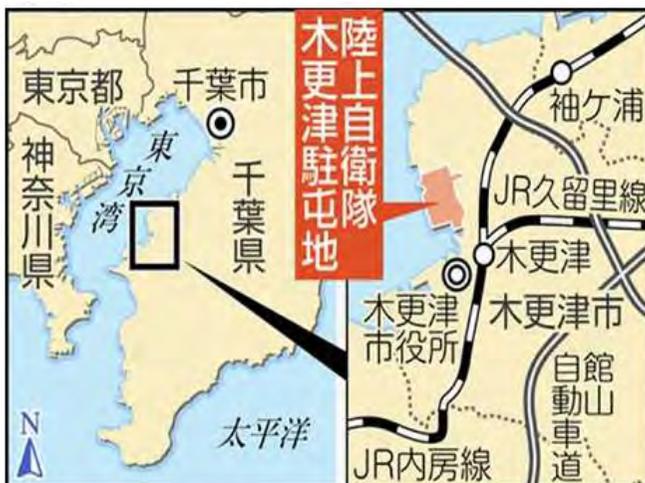
防衛省は、後方支援の日米協力の象徴と胸を張る。これが日米防衛族の本音だ。「国防は地域住民のご理解と協力なしにはできない。丁寧な説明が必要」との、空虚な枕詞が現実になった。

■オスプレイが飛ぶ空の下の悲劇

陸上自衛隊木更津駐屯地は、習志野・船橋ルート、東京ルート、横浜・横須賀ルートで首都圏、群馬・新潟、東富士と合同訓練の中心となった。南房総地域での低空訓練はいうまでもない。

欠陥機といわれるオスプレイは、否応なしに私たちのいのちと生活と環境に大きな影響を与える。

木更津市長と同市議会が市民の声に寄り添わなくなった悲劇は、行政と議会に不信を突きつけつけたが、真の被害者は私たち市民・住民、国民なのだ。



木更津駐屯地はこんな所にあります



■3万のチラシと全国の署名活動で反撃

「住民の会」は①容認撤回②オスプレイ導入やめよ③定期整備廃止の3点を求め、3万枚のチラシと全国署名で反撃。

全国の仲間の応援で7月に防衛省に29万筆以上提出、地元でも木更津市長に1.3万筆以上が集約されました。私たち「オスプレイ来るな いらぬ住民の会」の基盤は、憲法を守り活かす立場です。

憲法が主役であれば、米軍の横暴も自衛隊の際限のない増強作戦も、木更津基地の機能増強も、制御することができます。

市民生活の豊かさは、オスプレイや木更津基地増強でもたらされるものではありません。ましてや漁業・農業振興、土地活用などですすむ木更津市の「持続可能な豊かな

まちづくり」に、オスプレイは何の役にも立ちません。1945年5月猛爆を受けたことを忘れる事はできません。

地方自治法の本質は、市民生活の向上と安全・安心を守るまちづくりにあります。この王道を確認し、ねばり強くたたかうことが、沖縄県民のみなさんの、戦後からつづく苦難の闘いに近づくことだと、肝に銘じて運動をすすめています。

最後に、「武器で平和をつくれぬ」。「対話のあるところに戦はない」。「紛争の解決は憲法9条にある」「オスプレイは日本の空にいらぬ」を、皆さんと確認し合いたいと思います。

貴重な紙面をお借りして報告の機会を頂きありがとうございました。(のなかあきら)

《米軍の提案要求概要》

- 主な整備対象は普天間に配備された24機のMV-22
- 2023年以降、米海軍CMV-22の整備も想定
- 標準的な1機当たりの整備期間は約1年4か月を想定
- 契約期間は最大9.5年
- 同時に最大7機整備入り
- 海外へ出張整備を企業に打診する可能性がある
- 格納庫は企業が用意することが基本。整備地点は沖縄から1000マイル圏内を想定
- 将来的に米軍の格納庫を貸与する可能性もある
- 複数社選定した場合は整備入り機体ごとに、どの企業に実施させるか米側が判断

■「オスプレイ」には米海兵隊向けのMV-22、米空軍向けのCV-22、米海軍向けのCMV-22があります。性能は基本的には同じですが、米空軍のCV-22には「地形追従装置」が取り付けられています。この装置は、夜間などの見通しが利かない場合でも、山肌を這うように飛行することができます。

■オスプレイの第1陣12機は、2012年7月23日、関門海峡を通り、海兵隊岩国基地に陸揚げされました。



MV-22の最大速度は時速520km

コロナと地位協定・・・米軍基地の感染の実態

コロナ感染拡大から見える日米地位協定と米軍基地

「豊見城市島ぐるみ会議」幹事 真栄里保

■沖縄での急激な感染拡大の広がり

沖縄県は5月1日から7月6日までの67日間は、感染者ゼロが続いていました。ところが、7月7日普天間基地で新型コロナウイルス感染者のクラスターが発生以降、県内で感染者が爆発的に拡大、7月31日、緊急に記者会見を開催した玉城デニー県知事は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、8月1日から15日まで緊急事態宣言を発令。県の警戒レベルを「第2段階(警戒レベル)」から「第3段階(流行期)」に引き上げ、さらに感染拡大の勢いが収まらないことから、緊急事態宣言を8月29日まで延長すると共に、県独自の警戒レベルを、最も高い「感染蔓延期」にあたる第4段階に引き上げました。

感染拡大の急激な広がりには、島嶼県沖縄を直撃しています。直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数は、17.57人(8月24日時点)と減少傾向にあるものの、依然として全国ワーストワンとなっています。

医療現場は、コロナ患者の「病床占有率」は67.1%とやや改善したものの、依然として深刻な状況となっています。こうした事態の中、玉城知事は全国知事会で、医療従事者の支援を訴えました。

■国の責任を棚上げにして

米軍の感染者数は、合計367人(8月25日時点・沖縄県の感染者数には含まれない)で在沖米軍は約2万3000人、家族を含めると4万3000人とされており、人口比で見れば米軍の感染率の割合がはるかに高くなっています。

ところが安倍政権の対応は、コロナ危機の中でも沖縄いじめと受け取れる発言をし

ています。

沖縄県内で新型コロナウイルス患者が急増し、軽症者向け療養ホテルの確保が間に合わない状況を、「政府からは県側へ何回となく確保すべきであると促している」と述べ、いかにも沖縄県の怠慢だとの姿勢をあらわにしました。

県の保健医療部長は3日、「国の通知に従い、病床確保計画を進めてきた」と述べました。菅官房長官の発言は、国の責任を棚上げにして沖縄県に責任を押しつけるものとして、県民からも大きな批判の声が上がっています。

■独立記念日と米軍関連の感染拡大

在日米海兵隊が、新型コロナウイルス対策の警戒レベルを緩和していた6月17日から7月10日の間、兵士らは基地外での食事や娯楽を許されていました。アメリカ独立記念日にあたる7月4日は、アメリカ人にとって特別な日なのでしょう。この日は、県内の米軍基地の内外で大規模なパーティが開催されました。北谷町の美浜では男女入り乱れて数百人が大いに盛り上がったと報道がされました。殆どがマスクもすることなく、三密状態だったと言います。その中には日本人も多数参加していました。その結果7月24日時点で、新型コロナウイルスの感染者が189人確認され、海兵隊のキャンプ・ハンセンや普天間基地でクラスターが発生したことが確認され、米軍関連による感染拡大がつづいています。

■検疫の取り決めなし

米軍は、軍隊内での新型コロナウイルス感染拡大を受けて、3月末、米軍に海外での移動を60日間停止する措置を取って

ましたが、感染者数が減少した6月8日にイギリス、ドイツ、日本などへの移動制限措置を一部解除しました。

一方で在日米海兵隊は、8月21日行動規範を見直し、那覇市内での行動不許可としながらも、基地外での行動は自由だとしたのです。新型コロナウイルス拡散の危険が高まることになります。

日本政府は現在、感染防止のために米国からの入国を原則禁止していますが、米本土から直接、チャーター便で日本国内の米軍基地に到着し、国内を自由に移動することが可能です。その結果、米国から新型コロナウイルス感染者が入国した事が指摘されています。米軍が日本に入国する際の検疫について、そもそも日米地位協定に取り決めはありません。日米合同委員会で「人、動物及び植物の検疫に関する合意」(1996年12月2日)としているだけです。この大要は

- ① 合衆国に提供された施設、区域から入国する場合は、合衆国軍隊が行う検疫を受ける。
- ② 合衆国に提供されていない区域、空港、港から入国する場合には、搭乗している医官が、感染の恐れがないと証明書を出せば、検疫済みの証明書を発行し、入国することができる。と定めています。

在日米軍司令部は、米軍人の入国に際し、嘉手納基地などの米軍基地に直接、到着することを推奨していたことが、7月17日の沖縄タイムスで報道されました。

これは、日米合同委員会の合意に基づいて

日本の入管法や、検疫法などの法律に縛られることなく米軍の自由な入国を推奨していた事に他なりません。日本の主権は重大な侵害を受けていることになります。

■ドイツでは

ドイツのNATO軍付属協定(ボン付属協定)は、検疫について「ドイツの法令及び手続きが軍隊および、軍属に対しても適用される」という点からも、日米関係がいかに異常なのか明白です。

新型コロナウイルスが、アメリカで爆発的感染拡大が明らかになっている元で、こうした取り決めは余りにも異常で、日米地位協定の抜本的改定とあわせて、日米合同委員会合意を日本の検疫法、入管法が適用できるよう、直ちに改めるべきです。また、日本国内への入国に際してはPCR検査の実施を確実に行うべきです。

安倍政権は、米軍に対し必要な情報を収集し、感染拡大防止のための具体的な対策をとらなかったことが、国政野党の合同ヒアリングの中で明らかになりました。7月下旬になり米軍はようやく日本に入国する全ての在日米軍関係者に対し、14日間の移動



キャンプシュワブの工事現場に入るミキサー車



2枚とも、本部町・安和桟橋での土砂搬入の様子



制限措置を引き続き義務付け、PCR 検査を実施することを発表しましたが、北谷町の隔離用借り上げホテルに、PCR 検査をせずに米軍関係者が宿泊するという事態が発生しました。

■政権の無策、県民を危険に晒す

島嶼県沖縄での感染の広がり、感染者の外部からの流入以外にはありません。これまで述べてきた米軍からの感染拡大とあわせて、GoTo トラベルキャンペーンによる感染拡大です。

安倍政権は、新型コロナウイルス感染拡大で、GoTo トラベルキャンペーンに多くの懸念や反対が出される中、経済も支えるとの肝いりで強行しました。沖縄の離島などでも感染者が広がりはじめています。

7月下旬、那覇市松山地区の歓楽街ホストクラブで、新型コロナウイルスのクラスターが発生し拡大しました。東京からホストクラブの従業員が、団体で那覇市松山のホストクラブに来店していたことが確認されてい

ます。

安倍政権の多くの無策が、感染拡大で県民の命と健康を危険に晒しています。感染された方の一日も早いご快復を願わずにはられません。生活している以上、誰もが感染のリスクを抱えています。新型コロナウイルスの収束で、普通の日常を取り戻すたたかいはまだまだ続きます。

3月下旬に乗組員 1000 人に集団感染者がでた米海軍の原子力空母セオドア・ローズベルトで、陽性者を含む 3000 人以上の乗組員を、沖縄県と神奈川県に米軍基地に移送する計画があったことが明らかになっています。空路で空母から沖縄に運ぶ計画だったと言います。最終的には米軍専用施設の70%が集中する沖縄に移せば「日本政府との関係が複雑になる」との理由から、感染者はグアムで下船し、沖縄への移送は撤回されましたが、こうした動きは日米関係がいかに従属の関係にあるかを示しています。(まえざとともつ)

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約

《天久学習会》No.4



第 2 章は公開学習会です

・日時… 9 月 19 日(土)10 時～12 時

・場所…生涯学習総合センター A 会議室 ・講師…天久泰弁護士

・内容…テキスト《日米地位協定－在日米軍と「同盟」の 70 年(山本章子著・中公新書)》から第 2 章「60 年安保改定と日米地位協定締結-非公開の合意記事録」

※すみませんが、テキストはご自分でお買い求めください。

※参加申し込み・お問い合わせは…藤堂均 090-6299-2608 まで。コロナの感染状況で中止になる可能性もあります。その場合申し込みをいただいた方には、連絡をいたします。

浦島悦子の連続エッセイ <南の島から> No.10

地域の宝(普通の人の普通の暮らし)を掘り起こす

ヘリ基地いらぬ二見以北十区の会共同代表/フリーライター



私が沖縄島中部から、ここ名護市東海岸に移住したのは1998年3月、今から22年前だ。当初、住むことになった安部(あぶ。現住地・三原の隣集落)はどんなところなのか、その歴史を知りたいと、名護市史編纂室(現在の名護市史編纂係)を訪ねたのが、名護市史の調査・執筆にかかわるきっかけだった。

対応してくださったNさんから「そういうことに関心があるのなら調査員をやりませんか?」といきなり言われて、私は面食らった。当時、進行中だった『民俗編』のための聞き取り調査だという。「えー!? そんなことやったこともないし、勉強もしていないし、全くの素人ですけど…」と言うと、「民俗というのはね、普通の人の普通の暮らしを聞くのだから、普通の人がいいんですよ」。

思いもかけない言葉だったが、私は妙に納得し、怖いもの知らずの「素人」の強み?で、その世界に飛び込むことになった。居住地に近い隣の三原~二見までを担当地域として割り当てられ、移住して間もない私が「名護市史編纂調査員」という名札のおかげで、怪しまれることなく多くの人たちのお話を聞くことができた(もちろん、拒否されることも時々あったけれど)。

私にとって地域の聞き取りは、埋もれた宝を一つひとつ探し当て、掘り起こしていく、わくわくする作業であり、驚きと感動の連続だった。「普通の人」たちが語るライフストーリーのどれ一つとして同じものはなく、どれもがかけがえのないものだった。

彼らが語る「歴史」がこんなに面白いのに、学校時代、歴史の時間があんなに退屈で面白くなかったのはなぜだろうと思った。おそらく、学校で教えられるのは歴史の上澄みの「偉い人」の話ばかりで、自分とは関係ないと感じたのだろう。

その後、私は『民俗編』から『出稼ぎ・移民編』『戦争編』まで約20年間、断続的に調査・執筆にかかわってきたが、慧眼と実力を兼ね備え、温かい目で私を育ててくださったNさんが途中で辞職されたのは悲しく、淋しかった。実質的に市史編纂の中心を担っているにもかかわらず、身分は半年か1年契約の「嘱託」で、昇給も全くないと聞いて驚いた(私たち市民調査員に対する名護市の待遇も極めて劣悪だったが)。「権威」の大嫌いな彼は、編集委員などと格付けされた高名な大学教授や学者に「楯突く」厄介者扱いされていた面もあったのかもしれない。私はそういうところが好きで尊敬していたのだが…。

聞き取りの際の注意としてNさんに言われたことがある。「民俗の聞き取りは、シマ(集落)を出たことのない女性が一番いい。男、とくにインテリはダメです」。余計な情報が入りすぎているからだという。

数多くの聞き取りの中で、私の印象に強く残っているのもやはり女性だ。もう故人になってしまったが、とりわけ忘れられない2人の女性の話は次回以降に紹介したい。(うらしまえつこ)

たくさんのご意見や思い、ありがとうございました

第6回定期総会《紙面集約》報告

新しい運動を模索する1年間に

急ぎよ紙面総会となった今年の総会の報告をします。

■議案に対する返信は、下記の通りです。

発送葉書数 310 枚・返信ハガキ数 146 枚(47%)

	承認する	承認しない	保留	白紙
活動報告	144	0	1	1
会計報告	143	0	1	2
監査報告	143	0	1	2
新年度方針	144	0	1	1
役員体制	144	0	1	1

■たくさんのご意見が寄せられました…ありがとうございました。

※長い文章については、一部または要約して掲載しています。

※固有名詞等は記載していません。

- ニュース聞かたびに、はがゆい思いをしなが、なにもできない自分がいる。微力ながら応援しています。
- 往復はがきを仕舞い忘れてしまいました。総会のことを書面で行う事だそうですが、すべて承認します。
- コロナ禍で沖縄は大変です。気の毒です。厚労省は看護師など派遣を検討しているようですが、全国に救援を呼びかけたらどうでしょうか。
- 活動に参加できず、恐縮するばかりです。
- 辺野古埋め立て土砂については、一般の新聞、TV では取り扱っていませんので、国民の多数は知りません。
- 何から何までお世話になります。
- 若い方々に、参加・関心をもってもらえる方法を、早く考えないといけないと思います。
- 会の活動に敬意を表します。議案への意見は特にありません。
- 今後ともよろしく願います。
- 表にメールアドレスを記入していますので、今後会報は、メールで願います。
- この頃思っている事は、無駄な軍事費を削って、くらしや文化や平和のためにお金を使えの声を大きくすること。今それを捻らせるチャンスですね。
- 会報は読みごたえがあり、とても勉強になっています。学習会や講演会などが開ける状況になりますように。制限しながら実施していくことが大事では。

- 世界で自然保護が叫ばれているのに、逆行して辺野古新基地をつくることは腹立たしい。土砂の県内調達により、二重の環境破壊とはひどい。学習会・講演会の中止残念。
- 毎月内容の濃い会報を届けていただきありがとうございます。コロナ禍と猛暑の夏。くれぐれもご自愛ください。
- 辺野古建設中止に追い込みましょう。
- 当団体としては、すべて承認という事になるのですが、関わり方として、今のままでよいのか考え込んでしまいます。
- 困難な状況の中、毎日の活動お疲れ様です。皆様のご努力に感謝します。
- 辺野古建設中止まで、頑張りましょう!!
- 昨年末に沖縄防衛局が「…必要量は県内調達が可能」と発表とあります。環境破壊が必死ですし、超軟弱地盤での90m工事はできないでしょう。
- 美しい辺野古の海を、まるで暴力団のように強引に埋め立てる現政権は、絶対に許さないと強く思っています。
- 貴重な自然を壊し続ける。専門家が不可能という事をやり続ける。感染症から命を守ることが最優先なのに税金を湯水のように使う。一日も早くストップさせたいです。
- 「浦島悦子さんと語る朝」に参加しました。気さくな方でお話は丁寧。細部についても論理的で、知らないことも多く楽しかったです。
- 1年間休むことなくの活動は膨大。どれを取っても必要不可欠な事項ばかり。根っこは日米安保条約。破棄! 一日も早く政府を変えましょう。
- いつも貴活動を進めていただきありがとうございます。おんぶにだっこのような会員ですが、辺野古の青のTシャツを着て、意思表示は時折しております。
- 自然を壊すことは人類を破滅させること。どんな事があってもやめさせなければ…。早くコロナが収束して連帯の集会が開けますように。
- 気候変動防止の為に、コロナウイルス感染対策の為に、新基地建設・土砂埋め立て費用を回せと言いたい。
- 粘り強い活動に敬意を表します。郵送料だけでも大変だと思うのでメールでいいです。
- いつもありがとうございます。これからも応援します。よろしく願いいたします。
- 政治状況のところで、「敵基地攻撃」論の浮上を加えたらどうでしょうか。
- がんばりましょう。
- 美ら海の埋め立ては許さない。コロナが収まったら、また座り込みに行きたい。
- この情勢では、紙面総会への変更はやむを得ないと思います。今後も共に頑張りましょう。
- 総会の提案、全部賛成です。刻々と変わっていく現場の情報をいつもありがとうございます。遠く離れていますが心はいつも現場にあります。
- いつも会報を送っていただきありがとうございます。行動になかなか参加することができません。辺野古基地建設は「絶対に中止させないと」と思っています。
- 遅れてすみません。毎月の会報ありがとうございます。
- いつも会報をありがとうございます。沖縄名護市に友人がいるので心熱く応援というより、自分たちの問題として話せる場では話をするようにしています。
- 当会は休業中ですが、財政は何とかなっていますので、続けて会に入れておいてください。
- 回答を忘れて遅くなりました。すみません。
- 毎月の会報作成発送は大変な作業だと思います。私には貴重な情報源です。感謝いた

します。一日も早く辺野古の埋め立てが中止になることを願っています。

- 美しい海に土砂を投入して茶色の海に変え、生息している魚や植物をなくしてしまう。私たちの税金を湯水のように使い、いったい国は何をしているのか。腹立たしい。
- 会費は今後どのように振り込んだらいいでしょうか。応援するしかできませんが、よろしくお願いします。皆様には感謝しております。ありがとうございます。
- これからも辺野古基地建設をとめるために、北九州でガンバリましょう。
- 世界中に 13,865 発の核兵器が。沖縄は戦後米の基地として大変な思いをしてきた。その上辺野古にまでと思うと恐ろしい。国会を開いて、コロナの事も含めて議論を。
- 日本を守るための米軍駐留ではない。その基地を我々の税金で建設。完成時期と経費は不明。宝のような自然破壊。これを北九州市民にどうやって伝えるか。頑張ろう。
- コロナ禍で動きがとれないなか、お疲れ様です。勉強会など参加できずすみません。
- いつも不条理に抗しての沖縄・地域・社会の為ありがとうございます。
- お疲れ様です。暑さの中充分ご注意ください。
- すばらしい活動に敬意を表します。ありがとうございます。
- 記名欄がありませんが、大丈夫ですか。
- 頑張っていますね。応援しています。
- 沖縄は感染者が急増して医療体制もひっ迫しているのに、辺野古の新基地建設には、税金を湯水のごとく使おうとしている。何としても新基地建設を断念させましょう。
- 在日米軍の活動経費、世界に例のない異常な経費負担です。米軍の思いやり予算より、新型コロナの対策に予算を回すべき。辺野古建設もやめさせましょう。
- オオキンケイギクは私の住んでいる所にも広がっています。コロナ禍のもと、社会や政治の在り方が問われています。基地建設をやめケアに強い日本に変えましょう。
- 新型コロナだけでなく、今後の感染症対策のためにも、web やリモートを活用した会議や学習会は積極的に取り入れるべきだと思います。
- コロナで集会などが制約されて困りますね。辺野古の基地建設の停止は、貴重な自然を守るためにも、日本の平和を守るためにも重要です。運動の発展を願っています。
- 動ける人が少ないようですが、やっていることは素晴らしい。会報は勉強になります。今号の横須賀の事、自衛隊と米軍兵の能力の低下など、実情がわかります。
- お世話いただき、ありがとうございます。新しい運動方針のNo.3 に、とても期待します。私も具体的に協力を考えたいと思います。何かの時には声をかけてください。
- 日本国から米軍基地は出ていってもらってください。沖縄県に基地はいりません。
- 現地で頑張っている皆さん、ご苦労様です。美ら海を守りましょう。地球を守りましょう。
- 沖縄はコロナでは観光客からの感染の恐れ、米軍基地内の感染(これも曖昧な報告)。踏んだり蹴ったりです。辺野古の現場で感染者が出てても工事をするなど、許せない。
- コロナ禍で大変ですが、頑張って下さい。議案については承認いたします。
- 辺野古の地盤が軟弱だとわかっているのに、工事を続行するのは、税金の無駄遣いだとおもいます。
- 参加できなくて申し訳ありません。新年度はもっと参加するよう頑張ります。
- いつも会報を送っていただきありがとうございます。送料がかかり申し訳ないなあと思っていました。次回からはメールで送ってください。
- 戦争は人が起こさなければ起きません。マヨネーズ上の海に土砂を埋める費用は、ドブにお金を捨てること。そのお金は、すべてコロナ対策と災害対策に使うべきと思う。
- 総会が開かれればよかったですと思いました。今後、協力できることがあったらやりたいと思



います。頑張りましょう。気持ちだけはやる気があります。

- コロナ禍で諸活動が制限されることが、とても残念です。今後も会の運動を支援していこうという思いです。
- 高齢で思いの外体力低下がすみ理解力・判断力にも自信がなくなりました。ご活躍に感謝しています。
- いつも活発な活動に感謝です。マヨネーズ地盤上の建設はあり得ない。国にも怒りだが、無関心な国民にはそれ以上怒り!
- 会報はスミズミ拝見しています。沖縄の問題(辺野古も)、現在の政府の在り方が本当に問題です。あきらめずに声をあげていくこと、草の根の運動の大切さを痛感。
- 活動方針の《3》特に大切だと思います。小倉駅前の街頭宣伝に参加したいと思っておりますが、足の具合がよくありません。お世話してくださる方に感謝いたします。
- コロナ禍で国の財政が大変で、消費税増税の話まで出ています。雇用悪化、商売も大変。国への怒りも大きくなる今がチャンスです。新しい運動の在り方を考えましょう。
- 駅宣伝の人数が少ないので、知人を誘います。連日の暑さに活動がすこし控えめになっています。がんばります。
- 運動を継続していくことは本当に大変です。ありがとうございます。できることを増やしていきます。
- コロナ禍の中での活動も大変だと思いますが、頑張ってください。いつもお疲れ様です。
- 参加はしていませんが、これからも賛同して参りたいと思っております。国の横暴は許しがたいです。



■ 沢山のご意見や感想を、新年度の活動に生かしたいと思えます。

※いくつかの質問にお答えします。

【記名欄がありませんが】

通常の総会では、議案採択の時には人数の把握だけですので、「返信者の名前の記載はいらないだろう」と世話人会で判断し、記名欄は設けませんでした。(表面のメールアドレスをお知らせいただく場合の記名欄は作りました)。

結果的には 7 割近い方がお名前を記載してくれ、世話会もビックリしているところですよ。ありがとうございました。

【今後の会費の振り込み方は？】

今年から総会議案と一緒に「会費入金状況のお知らせ」と「振込用紙」を同封することになりました。

来年度も同様にしますので、その時振り込んでいただければと思います。また、会報の裏にも、常時振込先を記していますので、ご利用ください。

なお、「お知らせ」を送った後の 1 か月間で、会費・カンパなど 40 万円以上の入金がありました。みなさんのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

【税金の使い方】

基地建設より、国民のための税金の使い方を…は、多くのみなさんの共通した思いですね。その思いを実現するためにも、日々の活動を頑張りたいと思います。

*

【今後の感染症対策のためにも、web やリモート会議・学習会を】
【制限しながら実施を】

世話人会もそう考えます。まず自分たちが慣れようと、8 月からリモート会議を行っています。なれたら、リモート学習会も取り組んでみたいと考えています。

また、可能な範囲で集まることも模索しています。天久学習会も、8 月は会場での学習会を予定していましたが、急きょ中止にしました。

コロナ禍で、予定がコロコロ変わりますが、ご容赦ください。

*

【根っことは日米安保条約】

まさにそうですね。世話人会では「日米地位協定」「日米合同委員会」「日米安保条約」の学習を始めています。と一緒に学び、学んだことを他の人に話していくことが、とても大事だと思っています。



- 次のコメントを下された方へ…私は現在 4 つの組織に携わっていて(略)「辺野古」をやめさせていたきたいと思っています。応援・協力はします。
- お名前がなくて退会の手続きができません。大野(090-4482-0043)までお名前をお知らせください。

【情勢に「敵基地攻撃」論の浮上を加えたら】

大事なテーマですね。議案の「この 1 年の情勢」は、「辺野古新基地建設」に関わる事柄をまとめていますので、「敵基地攻撃」論は情勢には加えていませんが、いずれこのテーマを会報の中で取り上げ、勉強したいと思っています。

*

【関わり方として、今のままでよいのか考え込んでしまいます】

会員さんの当会へのかかわり方は、さまざまです。当会としては、学習会や宣伝活動にぜひご参加いただき、その行動を通じて思ったこと・感じたことを、世話人会に提案していただければ幸いです。提案をお待ちしています。

*

【コロナ禍で大変な沖縄。全国に救援を呼びかけたら】

救援を呼びかけるのは大仕事で、当会の活動の範囲を超えていると考えています。

でも無関心ではられません。ちょうど今号に、沖縄のコロナ問題を掲載しています。

【会報について】

会報についてのコメントも沢山いただきました。世話人会として、とても嬉しく思いました。

いま会報は、会員・関係団体・全北九州市議・市政記者室などに 500 部。メール会報は、会員・首都圏～沖縄の団体・個人に発信。会報を会員さんに拡散してくれている団体もいくつかあります。

会報を作るコストは、20 ページで 10 円ですが、送料がかかります。本来会費だけでは若干足が出るのですが、みなさんのカンパで、毎月発行することができます。本当にありがとうございます。

《運動方針のまとめとして》

トップ記事の通り、門司は土砂搬出地ではなくなりました。しかし大量の土砂搬出予定地になった鹿児島県等に、土砂全協の仲間とともに、土砂搬出ストップの運動を広げていかなければなりません。

また、福岡県・北九州市に対し「辺野古新基地建設中止の意見書」や「日米地位協定の改定を求める意見書」の採択を求める運動にも、力を注ぐようになります。

その運動のなかで、「北九州市民にどうやって伝えるか」、「若い人たちをどう巻き込むか」など、今までとは違う「新しい運動」も模索しなければなりません。

それは会員のみなさんの力がなければ実現しません。辺野古土砂北九州の行動に参加していただき、みなさんが行動の中で感じた改善点や提案を、一緒に検討・具体化していきたいと思っています。

※議決された運動方針と役員を再記載します。

新年度の活動方針

■はじめに…WHO は、「近い将来、かつての常態が戻ってくることはない」と、コロナとの長期戦の覚悟を世界に求めました。新年度は、コロナ禍でもできる活動や、新しい活動の在り方を模索しながら、土砂全協の方針に沿った活動や、北九州独自の活動を取り組んでいきたいと思えます。

《1》土砂全協の方針に基づいた活動を行います

私たちは、土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)の一員として、土砂全協の方針を活動の中心に据え、全国の仲間と力をあわせて頑張ります。また、土砂全協の運動を支えるための活動(署名の集約・会報の発送作業等)を担う予定です。※毎年5月に開かれる土砂全協の総会が、今年は9月13日開催になりました。新年度の運動方針や任務分担は、そこで決まります。

《2》いっそうの市民・県民世論を広げましょう

- ①小倉駅前での街頭宣伝の参加者を増やすとともに、「目に訴える宣伝」などの工夫をおこないます。
- ②講演会・学習会・映画上映会などは、リモート(遠い・遠隔を意味する言葉)講演会・リモート学習会などを積極的に取り入れ、ネット環境のある方は自宅から参加、ネット環境のない方は、会場に集まる等で、三密にも赤字にもならない方法で取り組みます。

《3》国(防衛省・環境省)・自治体・議員への働きかけを強めます

- ①土砂全協の一員として、防衛省・環境省への交渉を行います。
- ②福岡県・北九州市に対し「辺野古新基地建設中止の意見書採択」を求めます。
- ③福岡県・北九州市に対し「日米地位協定の改定を求める意見書採択」を求めます。

《4》運動の推進のため、組織と財政を強化しましょう

- ①取り組みを通じて、団体・個人の会員を増やします
- ②「会報」を毎月発行し、情報提供の場・学習の場とします。

新役員

- 共同代表…小田恭二(年金者組合北九州市協議会 再任)
- 共同代表…法本健吾(全日本港湾労働組合関門支部 再任)
- 共同代表…南川健一(門司区9条の会 再任)
- 共同代表…三輪幸子(新日本婦人の会福岡県本部 再任) ※以上、あいうえお順
- 事務局長…八記久美子(個人会員 再任)
- 事務局次長…藤堂 均(個人会員 再任)
- 財政係…大野保徳(個人会員 再任)
- 世話人…宗吉信(個人会員 再任) 松本秀樹(個人会員 新任)
- 顧問…天久泰(弁護士・個人会員 再任)
- 会計監査…後藤尚子(個人会員 再任) 以上



福岡県の「希少野生動植物種の保護に関する条例(案)」

9月議会に提案され来年施行予定

辺野古土砂北九州では、土砂全協の運動方針を受け、今年2月から、福岡県に「外来生物対策条例の制定」を求める取り組みを始めました。

まず、土砂全協の末田顧問を講師に学習会を開き、請願書を作り、福岡県議会に提出するため「紹介議員になってほしい」と各会派を回りました。紹介議員がいないと、請願書を議会に提出することができないからです。

辺野古土砂北九州の思いを綴った請願書に、「この内容では数の力で否決される」と、いろんな方から言われましたが、共産党県議団が紹介議員になってくれました。また、民主県政県議団の渡辺県議が、希少種保護の条例制定の質問の中で、「希少種の生息に影響を及ぼす外来種の取り扱い」を取り上げてくれる事になり、ひとまず陳情書提出は見送り、様子を見ることにしました。

渡辺県議は一般質問の中で、希少種保護の条例の中に、外来生物の事もきちんと位置付けるよう議会で追ってくれました。そして今回、県がこの条例を9月議会に提案し、可決されれば来年4月から施行されることになりました。

今、この条例に対する意見書を、9月18日(金)まで福岡県に提出することができます。世話人会では、意見書を提出する予定です。(世話人会)

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 9月13日(日)…《土砂全協第7回総会in高松》13時～16時

※戸畑に集まらずに、各自自宅からリモート参加することになりました。

- 9月16日(水)…《世話人会》14時 北九州生涯学習総合センター(情報学習室)

- 9月19日(土)…《天久学習会・第2章》10時～12時

北九州生涯学習総合センター(A会議室)

- 9月25日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

編・集・後・記

「いまだかつて経験したことのない台風」は、幸い私の周りには、あまり被害を及ぼさずに過ぎ去った。しかしこれはプロローグ。荒れ狂う風の音を聞きながら、私は、これからますます台風は大型化して行くんだろうと思った。

今から60年くらい前も、台風はそれなりに来た。しかし、古いオンボロの我が家に、被害が出ることはなかった。また、夏でも気温は 26℃前後だったような気がする。それが今は、「生きて家に帰ってくるため」に、お茶は絶対に持って出るようになった。そして、コロナ感染症…。

社会の「儲け第一」の考えは、自然を破壊し続け、人間と他の生物の棲み分けを壊した。その結果が、地球温暖化やウイルスによるパンデミックだ。原因を作ったのは人間だ。

膝に乗った孫の柔らかな髪に触れるたび、この子が大人になったときに、いろんなことから逃げ惑う社会にだけはしたくないと思う。今のように動けるのもあと数年かと思うと、日々その思いが強くなる。(y)

あなたも「辺野古土砂北九州」の会員になりませんか

ご希望の方は下段の連絡先までご一報をください。会報をお送りします。年会費は個人 1000 円・団体 3000 円です。

※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。

【辺野古土砂北九州の口座】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」

【お問い合わせ】大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。

退会希望の方も、大野まで



「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

kanpanerura888k@gmail.com (アドレスが変更になりました)